



ダイバーシティ・キャリア支援センターのニュースレターVol.22をお届けいたします。このニュースレターでは、センターの活動内容や教職員の皆さまにご利用いただける支援制度などをお知らせします。ご一読の上、当センターの活動へのご理解を深めていただければ幸いです。

Topic 01 教員・臨床研修医と医学部6年生のランチ交流会

去る2025年6月5日(木)、臨床研修センターとの共催で、教員・臨床研修医、医学部6年生を対象とした交流会を開催しました。本会は、医学生のキャリア形成と本学での支援に関する疑問にお答えする場として設けられました。

会場には、教員5名、臨床研修医6名、学生10名の計21名が集まり、食事を囲みながら和やかに語り合いました。日頃から学生の指導に当たる先生方や臨床研修医の先生方は、医師・研究者の先輩としてご自身の様々な経験に基づいた話をされ、学生の皆さんは、普段の授業では聞けない貴重な話に熱心に耳を傾けていました。会場には時折笑い声が広がるなど、終始打ち解けた雰囲気包まれていました。

先生や先輩方の経験談や率直なアドバイスは、医師臨床研修マッチングを目前に控えた6年生にとって自身の未来を描くための大きなヒントとなったことでしょう。本交流会が、学生の皆さんが自信をもって次のステップに進み、医師・研究者として充実したキャリアを築いていくための一助となれば幸いです。



Topic 02 医学部2年生キャリア教育



2025年6月14日(土)1限から3限の医学部第2学年「実践医学」の授業で、「卒前キャリア教育」を開講しました。本授業では、全国の医学部卒前教育で男女共同参画に関する講義・ワークを実践されている蓮沼直子先生(広島大学医学部附属医学教育センター教授)に毎年講師を依頼をしております。

授業は伊野特任教授(副センター長)の挨拶から始まりました。木田主任教授(副センター長)による基調講演では、自身の強み・武器を知ることの重要性、患者にとっての医師の言葉の重み、そしてよきライバルで一生の仲間となる同期の大切さなどについてのお話がありました。

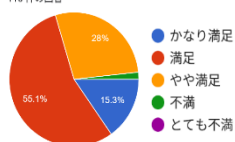
その後、蓮沼先生の司会・進行により、医師・研究者としてのキャリアを考察するグループ討論を実施しました。複数のグループに分かれ、「子供の朝の発熱」と「女性外科医の海外留学」のいずれかのケースを選び、発生する問題や対処法等について議論し、発表を行いました。

また、若手医師のロールモデルとして赤羽邦彬先生(耳鼻咽喉科学)にご講演いただきました。先生ご自身の経験を通して実感された「命にかかわる職業の大変さと尊さ」「やりがいを見つけることの大切さ」についてお話いただきました。

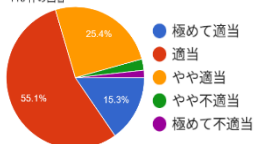
出席者からのアンケート結果では、内容について「かなり満足・満足」と感じた方が約70.4%、興味について「極めて適当・適当」と感じた方も約70.4%いらっしゃいました。また、より多くの実体験を聞きたい、具体的な働き方や進路の情報がほしいといった意見が多数ありました。ライフイベントがキャリアに与える影響を知り、人生設計をきちんと考えていく必要があると感じた方が多くいらしたようです。学生の皆さんにとって、将来のキャリアに対する具体的な展望が開ける、大変有意義な時間となったことが伝わってきました。

受講者アンケート回答より(抜粋)

内容の満足度はいかがでしたか？
118件の回答



あなたの興味に対して適当でしたか？
118件の回答



●医師のキャリアを考えてみてどう感じましたか。

キャリアを形成するためには想像以上に時間と労力、周りの協力が必要であると感じた／医師になった後のことについては全く考えたことがなかった／OBの先生の話が幸せそうに興味深かった

●今後のキャリア教育に期待することは何ですか。

ライフサイクルをもっと具体的に知りたい／学生に対して、選択肢を提供するような内容であってほしい／具体的な働き方やそれぞれのやりがい、苦勞、必要なスキルなどをリアルに知る機会を増やしてほしい

Topic 03 2025年度 女性研究者およびライフイベント(育児)中の研究者支援の取り組み

ダイバーシティ・キャリア支援センターでは、女性研究者およびライフイベント中(小学校3年生までのお子さまの育児中)の研究者に対して、下記①-③のとおり研究・論文作成の支援と研究業績の表彰を行っております。

いずれの制度も講師または助教(非常勤講師を除く、任期付助教を含む)の方を対象としており、男性研究者は小学校3年生までのお子さまがいっしょにすることが条件となっています。また、男女を問わず、産前産後休暇・育児休業・介護休業中の方も応募対象としています。

申請にあたってはそれぞれ諸条件が定められていますので、詳細は公募要項をご確認ください。

1 ダイバーシティ研究助成金(1件当たり40万円上限)

2 ダイバーシティ英語論文作成費助成制度(1論文あたり5万円上限)

3 ダイバーシティ表彰(学術分野)〔賞状と副賞(5万円)授与〕

今年度のダイバーシティ研究助成金採択者、およびダイバーシティ表彰(学術分野)受賞者は以下のとおりです。

2025年度 聖マリアンナ医科大学ダイバーシティ研究助成金採択者

氏名	所属	研究課題名	助成金額
越川 拓郎 助教	微生物学	HRM解析による白癬菌の同定とテルビナフィン低感受性遺伝子変異の同時検出法の確立	40万円
伊東 祐美 助教	麻酔学	安全かつ持続可能な腹膜環流を用いた肺代替療法の確立に向けた至適環流液の同定と肺保護換気の実践	30万円

2025年度 聖マリアンナ医科大学ダイバーシティ表彰(学術分野)受賞者

氏名	所属	掲載雑誌	論文表題
藤田 陽子 助教	腎臓・高血圧 内科学	Kidney International Reports	Clinical characteristics of nephrin autoantibody-positive minimal change disease in older adults
古屋 直樹 講師	呼吸器内科学	Cancer Medicine	Arterial thromboembolism in patients with advanced lung cancer: Secondary analyses of the Rising-VTE/NEJ037 study
新井 裕之 講師	臨床腫瘍学	Journal for ImmunoTherapy of Cancer	Role of CD47 gene expression in colorectal cancer: a comprehensive molecular profiling study

Topic 04 2025年度 ダイバーシティ表彰(学術分野)授賞式



去る2025年10月16日(水)、医学部6階大講堂にて、ダイバーシティ表彰(学術分野)授賞式が執り行われました。本制度は、女性研究者またはライフイベント(育児)中の研究者を支援し、学術分野における男女共同参画を推進することを目的とするものです(前ページ参照)。

今年度も、優秀な論文を発表した3名の方が選ばれました。授賞式では、受賞者の藤田助教、古屋講師、新井講師へ、センター長である北川学長より表彰状と副賞(5万円)が授与されました。

※藤田助教は当日ご都合によりご欠席のため、代理として小波津助教(腎臓・高血圧内科学)が賞状と副賞を受け取られました。

後列：左から伊野特任教授(副センター長)／北川学長(センター長)／加藤医学部長／峯下主任教授(呼吸器内科学)
前列：左から小波津助教(藤田助教代理)／古屋講師／新井講師



開会の挨拶
伊野特任教授(副センター長)



祝辞
北川学長(センター長)



閉会の挨拶
加藤医学部長



古屋講師



新井講師



藤田助教
(当日ご欠席のため別途撮影)

Topic 05 大学院キャリア教育

大学院総合教育科目Ⅲの講義では、鈴木(黒川) 真奈絵主任教授(女性医師・研究者支援部会員)が「研究者としての生涯構想」を担当しています。2025年度は12月13日(土)にオンデマンド形式で行われました。

講義では、医師のキャリア形成のタイムコースとその中の大学院の位置づけ、医師が研究に携わる利点、どのようにして生涯研究を続けていくか等についてお話がありました。また、医師歴20～30年で実際に研究を継続しているロールモデルが数例紹介されました。

その後、各大学院生より、1. 大学院卒業後どんな研究をしたいか、2. 研究のため留学する場合、(1)どここの大学・研究機関に留学し(2)どんな研究をしたいか、3. 留学後、生涯に渡り(1)どのようなスタイルで(2)どんな研究をしていきたいか、について、レポートによる報告がされました。大学院生の皆さんは、自身の強い希望と明確な方向性に基づき、具体的なキャリアプランを打ち出していました。聖マリアンナ医科大学大学院から巣立った若い研究者たちが、将来様々な分野で活躍してくれることを期待しています。

Topic 06 育児・介護休業法の改正に伴う「仕事と育児の両立支援」の拡充

育児・介護休業法の改正に伴い、2025年4月より「子の看護休暇」が「子の看護等休暇」へと名称変更され、制度内容の見直しがありました。この制度は育児期の柔軟な働き方を実現することを目的としており、お子さまの成長段階やご家庭の状況をより配慮した内容へ改正されました。改正前後の違いについては下表にてご確認ください。

改正内容	施行前	施行後
対象となる子の範囲の拡大	小学校就学の始期に達するまで	小学校3年生修了まで
取得事由の拡大 (③④を追加)	①病気・けが ②予防接種・健康診断	①病気・けが ②予防接種・健康診断 ③感染症に伴う学級閉鎖等 ④入園(入学)式、卒園式
労使協定による継続雇用期間 6か月未満除外規定の廃止	<除外できる労働者> ①週の所定労働日数が2日以下 ②継続雇用期間6か月未満	<除外できる労働者> ①週の所定労働日数が2日以下 ※②を撤廃

※取得可能日数は、現行日数(1年間に5日、子が2人以上の場合は10日)から変更ありません。

※本学では15分単位で取得できます。

また、2025年10月の法改正に伴い、一部の支援制度が3歳から小学校入学前までのお子さまを持つ職員にも拡充されました。対象となる職員の方へは、お子さまが3歳になる年度の前年度末までに、人事課から個別に詳細をご案内いたします。また、所属長に対しては、対象者が利用する制度を人事課より通知いたしますので、制度の趣旨をご理解いただき、ご対応くださいますようお願い申し上げます。

ご不明な点やご相談がございましたら、ダイバーシティ・キャリア支援センターまたは人事課までお気軽にお問い合わせください。

Topic 07 保育・介護お悩み相談会

昨年度に続き、今年度も10月から11月にかけて期間を設け、保育・介護に関する個別相談会を開催しました。保育や介護についてのご相談にいらした方のお悩みについて、井上執行役員(保育・介護支援部会長)と人事課職員がお話を伺いました。

当相談会では、Google Meetを使用したオンライン相談も可能で、直接会場にお越しただけなくても相談することができます。また、保育や介護に関する様々な情報を得られる機会となっております。

今年に限らず、育児と仕事の両立に不安を抱えている方が多く見受けられます。相談会期間は終了しましたが、ダイバーシティ・キャリア支援センターではいつでもご相談に応じますので、育児や介護に関してお悩みがございましたらセンターまでお気軽にご連絡ください。



Topic 08 育児負担軽減のための「ベビーシッター割引券」のご案内

本学では、教職員の「仕事」と「家庭・子育て」の両立を支援するため、ベビーシッター費用の一部補助制度として割引券を発行しています。本制度は、こども家庭庁から委託を受け、公益社団法人全国保育サービス協会が事業主(本学)と連携して実施しているものです。

本学に勤務している教職員(日本私立学校振興・共済事業団加入者に限る)が対象で、1枚あたり2,200円の割引が受けられます。利用には諸条件や注意事項がありますので、詳しくは下記サイトをご覧ください。

- ① 公益社団法人全国保育サービス協会 ベビーシッター派遣事業割引券ポータルサイト

<https://bs-ticket.jp/>

- ② 2025年度 子ども家庭庁ベビーシッター割引券のご案内(当センター発行)

https://www.marianna-u.ac.jp/career/pdf/sitter_annai.pdf

聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ・キャリア支援センター (東館1階人事課内)

☎ 044-977-8111(内線:3952)

✉ career@marianna-u.ac.jp

🌐 www.marianna-u.ac.jp/career/index.html